

# AI 活用の決算サマリー、ビジュアル版を配信

要旨を3分で図解レポート、「日経会社情報PREMIUM」「日経テレコン」で

日本経済新聞社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岡田直敏)は人工知能(AI)を使って決算の要旨を完全自動で文章配信する「決算サマリー」サービスを刷新し、ビジュアル版である「決算サマリーVisual」の提供を始めました。AIが、発表された決算短信にとどまらず、日経の経済データベース「NEEDS」に蓄積した膨大なデータから投資に必要な情報を抽出。会社発表後わずか3分程度で図解形式のレポートに作成してお届けします。前回発表との変化や業績の達成率がひとめでわかるほか、過去の業績推移や売り上げ変動要因など掘り下げた財務情報も一覧できます。まず、投資情報サイト「日経会社情報PREMIUM」および会員制情報サービス「日経テレコン」のコンテンツとして配信します。



(上図はサンプル画像です)

決算サマリーVisualは、適時開示情報サイトで公表された決算短信をAIが読み取り、売上高や利益など損益のポイント、計画に対する業績の進捗率、収益・配当見通しのほか、増減収の要因分析、同業他社との比較などをグラフや一覧表で示します。全上場企業約3600社の大半をカバーし、決算発表後わずか3分程度で文章・図表を作成、ユーザーへ配信します。

ビジュアル版は、決算短信や「日経NEEDS」の膨大な情報から特に投資に必要な部分をピックアップし、短時間でかつ漏れなく、そしてわかりやすく読み解けるように加工して提供することを目指しています。しかも、作業はAIによる完全自動で人手は一切介しません。今回のコンテンツ拡充は日本経済新聞社が進めるAI戦略をさらに一歩進めた形で、今後もサービスの拡充に取り組んでいきます。

## ■ 8つの特長

- ・速い…取引所で開示された決算短信からサービス提供までの時間は3分前後
- ・多い…全上場企業約3600社を網羅（情報量の有無などで図解にできない企業や項目あり）
- ・やさしい…難解な財務諸表が、初心者にわかりやすいコンパクトなレポートに
- ・完全自動…人手は介さず、すべてAIが作業を完結
- ・ビジュアル…主要な財務情報をカラフルなグラフィック表示。推移や変化をひとめで鳥瞰
- ・抽出…業績修正の根拠となる進捗率や配当見通しなど特に知りたい情報をピックアップ
- ・深掘り…セグメント情報、過去～現在の増減収要因など経営戦略や成長シナリオを解説
- ・分析…同業他社や類似企業を一覧し、銘柄探しも簡単

## ■ 公開中のサービス

<日経会社情報 PREMIUM> 12日から配信、当面は無料

<日経テレコン> 11日から配信、1件あたり300円

## ■ 開発

サービスは日経が出資しているAI技術に強みをもつ言語理解研究所（ILU、本社：徳島市、代表：青江順一、結束雅雪、ホームページ：<https://www.ilu.co.jp/>）などと共同で開発しました。

---

## 日本経済新聞社について

1876年以来、約140年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えています。主力媒体『日本経済新聞』の発行部数は約270万部で、国内61カ所の取材拠点で1300人超の記者が取材・執筆。2010年3月に創刊した『日本経済新聞 電子版』の有料会員数は約54万超、有料・無料登録を合わせ360万に達します。

## 本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 広報室 TEL:(03)3270-0251 (代表)